

南地区のハンディキャブ関係者の交流会

11月4日(土) 11時30分から、相模大野の中華料理 吉好亭(きっこうてい)で南地区ハンディキャブ関係者交流会が行われました。運転者・事務局員 10名の方々と、吉留(よしどめ) 副会長・杉本理事・加藤ハンディキャブ委員長が参加しました。食事をしながら、主に10号車の代替え車両の導入(平成30年2月、ホンダ N-BOX+)について、日程や新車両の特徴の説明(回転シートなし、乗車定員3名など)と、それらに対する意見交換を行いました。そこで出されたご意見のいくつかを紹介します。

- ・**回転シートの利用者**に対し、車いすを常備して、それを使って乗車してもらう方法を検討
- ・**4名運行**(車いす利用者+付添い者+運転者+介助者)の場合、11号車で運行を検討
- ・**スタッドレスタイヤ**については、積雪になることがほとんどないので不要なのでは

ハンディキャブだより

仲間

ボランティア活動は 会社の経営にも役立つ

福島 惇

今春のボランティア養成講座でハンディキャブ活動を知りました。八月の国土交通省認定運転者講習を修了した後、自家用車での運行(セタン運行)に参加しています。以前、脳梗塞を患った友人たちと温泉などを旅行していますので、障がいのある方々の外出を支援することについてはある程度経験がありました。今回、更に学びたいと思います。ハンディキャブ活動に参加しました。

現在映画会社を営んでいます。六年前に、リーマンショックの時期に退職を余儀なくされた方々が高齢の方や障がいのある方と一緒に立ち上げました。これらの仲間たちは高い技術を持っていて、現在主に大学や人工知能ビジネス関連のCM作りと、ドラマ作りに励んでいます。

ボランティア活動としてハンディキャブ活動以外にも録音奉仕会に参加して、現在新聞の朗読をCDに落としています。更に、ヒップフアミリークラブに参加し、二十一年か国のご家庭の皆さんとの交流を行っています。これらのボランティア活動の考え方や経験は、会社の経営にも役に立っています。

趣味はピアノの演奏です。ヒップフアミリークラブの活動に必要なドイツ語の勉強も兼ねて、現在モーツァルトの「魔笛」に挑戦中です。皆様、よろしくお願ひいたします。



お知らせ

セダン運行の「対価」据え置き

セダン運行(運転者の自家用車を使用して行う運行)の運転者に支払う全運行距離(※)kmあたりの対価を、今年度下半期も引き続き下表に示す金額で運用します。



	車両の種類	対価
1	軽自動車、ハイブリッド車	20円/km
2	5ナンバー車(1項の車両除く)	30円/km
3	3ナンバー車(1項の車両除く)	40円/km

※走行距離は自己申告。但し、対象外の走行距離に注意。

活動いろいろ

運行ボランティアの養成

毎年開催されるボランティア養成講座の「福祉車両の運転・介助」コース講座の実施と、それに続く運転者として必要な資格の取得や技能の習得をしてもらうための活動を紹介します。

加藤ハンディキャブ委員長を中心に事務局の方々の協力をいただき取り組んでいます。

1 実行委員会に参加	毎年4月、講座検討委員会の呼びかけで実行委員会に参加し、講座の企画
2.基礎講座での紹介	6月の基礎講座の最終回に「福祉車両の運転・介助」活動の紹介
3.コース別講座の実施	9月~10月に「福祉車両の運転・介助」コース講座を実施(座学と福祉車両の操作実習)
4.国認定運転者講習の受講手続き	国土交通省による福祉有償運送運転者の資格取得をサポート
5.見習い運行の実施	ベテラン運転者の指導による実際の運行を企画・実施